

僕は今日、新聞の書き方を教えていただき  
 いただきました。今日話を聞いて感じたことは  
 新聞を作ることはこまかいことも考  
 作ってる人だと感じました。新聞には  
 文字のレイアウトが「あ、たけと」「早真も取  
 り方しかを考へて取ってる人だと感じ  
 ました。文字にもただ普通に書くと「けで  
 なく、色や形、順番など」をよく考へて  
 いるな」と感じました。下調べをすることもあ  
 りますが、その良し悪しをしっかりと  
 もらうのは「こまかい」点だと思います。あ  
 新聞にはけん利てきり弱かたりする  
 人間を助けたりできるし、逆に間違  
 ことを出してしまつてその人が「は  
 木たりするかもはたしいので、新聞を作  
 る人はたいてい人だと思ひました。自分  
 もト  
 りイドして新聞を作るけど、この自分が書  
 いた事には責任を付けて作りか  
 した。あと来てくれた新聞記者さんは  
 お礼がたい戸ありか  
 ございました。

今日の講座を受けてとても約にたちました。色々な生徒に質問をして一緒に理解したり、例なども挙げてわかりやすく説明してくれたりしてくれました。実際に先生が質問に答えてその風景を写真で撮ったりその質問をまとめて写真をはったりして新聞のような仕上がりになっていました。話を聞いていく内に新聞にこだわらないといけない点がありました。例えば「見出しをわかりやすくして読み手に興味を引くようにすることや写真の大事なところは真ん中に入れないうことや写真の撮り方のコツなどです。新聞を書くにあたって下調べをするなどたくさんしないといけないことがあって大変だなと思いました。今回の新聞書き方講座を通して難しいと感じることがあるかもしれないけれど楽しくやっていくと意外となれていくと思うのでがんばりたいと思いました。

新聞書き方講座を受けて

記事は、つめこめば、量が多ければいいと思っていたし、写真ものせればのせるほど分かりやすく、読みやすくなると思っていたから、いっぱいはりつけていました、だけこのせすまもよくなって、何個かにしぼって適量でやっていくほうがいいんだなと思いました。あと、写真をつける場所にもポイントがあって、細かなところまでこだわられていることを、初めてしりました。

文を、ずっと「また」や、「そして」などで続けて、かいて行かないくせがあるけれど、「トライやる・ウィーク」が終わった後は、しっかりとかいて行し、それらを使う回数を少なくしようと思います。

写真の撮り方も、井でくま、で、線と線の交点にとりたいものを置いたりなど、工夫したいです。質問も、ろっぐらいにしぼるのかよいと教わったので、必ず聞きたいことをしっかりとメモ、ていけたらいいなと思います。

今回の講座を受けて、新一年生か、この業所

に行きたいと思えるような新聞も完成させるために今日学ん

たことを

生かしたいと思

思いました。

2年 組 番名前( )

新聞書き方講座を受けて

僕は新聞の書き方講座を受けて、新聞社の人  
たちは、話題からその記事を書くのが速くて  
すごい驚きました。あと今日の話を聞いて、新聞は題し  
は書かす人によっても変り、内容も変ってくるのでリッ  
クリターの作る新聞を僕は作ってみたいでもあと、今日  
おもしろいと思ったのは、新聞は1つの行にかく字の量  
がきまるとは、したのがおもしろからたてで  
写真もどの角度からとるかでも全然感じることと違っ  
てくるし、インタビューは、インタビューする前に質問する  
ことを決めても、相手かどうやって返答してくるか  
など考えるのもやめようと思いはした。トリアルでは、  
ほしくは、とあしくインタビューしてカラフルな読みを  
くなる新聞を作りたいと思う  
ました。

新聞をかくには、たくさん的小青ほうがいるので、小青ほうを互又り入れるだけで、もうたいへんたが、じょうほうをたくさんとり入れてすごいと思いました。あと、しめこぎがあるので、期げんまでに提出しないと、いけないので、たいへん、なんとかなと思いました。

ほかにも、いろんな書き方、聞き方があったのです。こしたけ、あるときました。

ほかにも、いろんな言葉があ、て、ルールもあ、たのです。こいな、と思いました。

トライアルウィークがあ、って、新聞にするときは、わかりやすく書きたい、と思いました。

新聞書き方講座を受けて

新聞書き方講座を受けて、いろいろなことを知りました。  
例えば、メモを取る時には大事なところにはマーカーをして  
自立するようにまとめると、分かりやすくなり、写真を撮る  
ときは、主役の人を真ん中にして写真を撮るのではなく、三角  
形などの形にして写真を撮ると、キレイにとれることが分か  
りました。ふつうに普段からも使ってみようと思いました。  
森永先生が、植物について話していた内容を10分ぐら  
いで新聞にしてまとめていたのです。いいなと思いました。  
トライアルウエーヴでもメモをしっかりとって、新聞をキレイに  
つくれたらいいなと思いました。

新聞書き方講座を受けて

新聞書き方講座を受けてほくはいろいろな  
ことを初めて知りました。例えばいつも新聞記事  
の人は5W1Hの「たれが」「何を」「いつ」  
「どこで」「どのように」と意識していて他にも  
相手のリズムに合わせてなからやある程度話す  
内容を決めとくなど様々なことを知りました。  
実際先生にインタビューをしているときも5W1Hが  
話し方、リズムなど意識していてほくもトライ  
やる・ワークのときに今日教えてもらったこと  
を生かして将来にもつなげていきたいで  
す。

新聞書き方講座を受けて

私は新聞書き方講座を受けて読む人が読みやすい新聞を作ることが大切だと知りました。

読みやすくするには、写真を多くはることや、写真のとり方、見出しがとて大切でそのためにもインタビューを知りたいことをしっかり聞くことも必要と知りました。

トライやるウィークでは事業所さんの所でしっかりその仕事を理解して新聞を作りをしたいなと思いました。



今日三好さんの話を聞いて、親聞作りやそのためのインタビューにおいて大切なことを学びました。

まず教えてもらったのは、5W1Hが大切だということです。5W1Hとは、いつ、どこで、たれが、何を、何のために、どのようにで、記事を書くときに意識して心がけようと思いました。

写真のとり方では、いろいろな距離や角度からとること、写真から人のふんいきが感じとれるようにとること、良い写真がとれると教わりました。たくさんとることも大事なので、忘れずしっかり写真をとろうと思いました。

またトライやるウィークまでまだまだありますが、今日教わったことを忘れずにしっかり新聞をつくらうと思います。

私は、新聞書き方講座を受けて、新聞は色々工夫されて作られていることを知りました。

例えば、インタビューのときに、あらかじめ下調べをしておくことや質問を考えておくことで、相手から話し話をしてもらえるようにしているのがすごいと思いました。インタビューの相手のリズムに合わせて、笑顔で聞いていたりすることで相手も話しやすくなってこぼれ話をしてもらえたりすることもあるんだと分かりました。また、記事を書くときは、見出しの色や形、大きさを変えたり、写真の場所を真ん中や上の方にするなどで、読みやすい記事になることが分かりました。

実際にインタビューをしてみると、予想外の答えが返ってきたり、追加で聞く質問が思い浮かばなかったりして難しかったです。

今日、教えてもらったインタビューの仕方や記事の書き方を使って、読んでくれる人に自分の言いたいことがちゃんと伝わる新聞を書きたいです。

新聞書き方講座を受けて

今日の講座を受けて、がんばろうと思ったのは、見やすい新聞。相手に「おっ」となってもらうような新聞をつくる、ことです。いくらたくさん記事を書いても、いいことを書いてあっても、文字でいっはいいけど、つまらないものと相手も見ることがなくなってしまうからです。なので、写真を使ったりカラフルにしたり、改行する文字を10字〜20字程度にして見やすく「おっ」となる新聞にしたいです。三好さんが、「見出しを決めるといい」と言っていたので、見出しだけでも内容が分かるように、決めるといいなと思いました。あと、インタビューのやり方についても教えてくれました。最初に少し下調べをしておいて、これを聞こう、というのをしっかり考えてからインタビューするといいと言っていました。インタビューするときは相手のリズムにあわせて相づちを打ったり共感したりするといいらしいです。あと、個人的に、相手の目を見て、しっかり言葉を聞くといいかなと思いました。写真をとるときは中心にはあえてなにもおかないで、中心より少しずれたところに置いていい感じにとれるようなのでやってみたいです。ちゃんととっていい場所は相手を確認してからとるようにしてどうなのないように気を付けたいです。今日、ならったことを意識して、トライするワークのときにインタビューしたり、親聞をかきとるためにしたり、写真のとり方を意識して、本番できるといいなと思いました。本番だけでなく、写真のとり方は、日常生活でも使えるので、やってみたいです。

新聞書き方講座を受けて

一番印象に残ったのは新聞記者?さんと森永先生とのインタビューでした。理由は、やはり神戸新聞で働いている人は他の人とは違って返ってきた言葉をすぐ聞き取ってすぐにまた質問をするからです。なぜあなたにもすぐに質問を返せるのだろうかと思いました。そしてメモした内容もすぐに記事として表したりしてすこいという言葉しか出ていません。

その他にもスライドも作り込まれてわかりやすく、話し方も取り入りがよくて理解しやすく面白かったです。

写真の撮り方も工夫しないといけないなくて、いろんな角度から撮ったりして読者にわかりやすくしないといけないんだなと思いました。トライやるウィークの新聞を書く時、さっきの写真の撮り方もどうですが写真をハソに置いたり見出しも工夫して読者の目にいませるように新聞作りをしたいと思いました。

新聞書き方講座を受けて

私は新聞書き方講座を受けて、新聞は過去に授業や宿題でやっていたことがあったけど、よくレイアウトなどが分からなかったのもので、プロの人に話を聞いてよかったです。質問をする時に下調べをちゃんとしていたり、一方的に自分が話しすぎないように気をつけているのがすごいなと思いました。三好さんが森永先生のインタビューをしている時に、1つの答えからたくさんのお考えを出して質問をしているのが頭の回転が早くてすごいなと思いました。それを約10分だけでいたい完成させて記事を書いているのもびっくりしました。レイアウトを作るときにたて書きにしたり横書きにしたり、少しの工夫をすることが大事なんだなと思いました。トライやるのことを記事に書くときも手書きなので、フォントをイメージに合うように変えてみたりしたいです。あとは写真もイメージに合うように撮りたいです。三角を心がけながら頑張ろうと思います。今日教えてもらったことを忘れずに、トライやる・ワークの新聞をいいものになりたいと思いました。

私は新聞書き方講座を受けてた。1枚の紙面にいろいろな工夫が詰まっているんだなと思いました。

あと、意外に思ったことは写真は写したいものを意識して中心にするのはあまり良くないということです。中心に写した方が全体的に見えるし、分かりやすいと思います。なので意外でした。2つ目は写真をとる角度、光の加減で写り方が全然ちがうということです。例えば出てきたスパゲッティは暗かったらあまり美味しそうに見えなかったけど、明るさを変えたり、距離を変えるだけで全く違う印象だった。なので意外に思いました。

トライやるで今日学んだことを任せられたらいいなと思います。

あと、誤字脱字で信頼がなくなると言っていたのでそれも気をつけたいです。

新聞書き方講座を受けて、書法以外にもインタビューの仕方なども聞けて、敬意の気持ちを持ってリポートすることが分かりました。新聞はレイアウトが特に重要で、見やすい位置に写真や資料を載せると良いと分かりました。文章を書くことにおいて「5W1H」を必ず書くようにしたら、内容が分かりやすいと思いました。インタビューする前に聞きたい事をある程度決めておくことで、スムーズに整理して会話できるんだなと思いました。誤字脱字に気をつけたり、文の構成をよく考えて、序論・本論・結論を逆にしたりして工夫できたら良いと思いました。トライやるウィークで実際に新聞を書くので参考にして書きたいと思いました。

僕は新聞記者の人のことはよく知らなかったけど、今回の話を聞いてすごく記憶力が必要な人だなと思いました。記事を書くには相手の言ったことを全部覚えていないといけないし、それで持ちこたう的だった所を切りぬかなければいけないし、読む側が分かるように難しい事もなるべくのせないとしないといけないので新聞記者は自分がしろなだけで裏ではとても努力をしてくるんだなと思いました。



僕は書き方講座を受けて新聞を書くのにも色々な意識することがあって、だいたいと思いました。

例えば書くタイトルも誤解されたいように考えてついているからです。

誤解されたいように色々な考え方で考えて読む人が簡単に分かりやすくしているので、自分もマネして新聞をつくりたいです。

2つ目は文の構造の「W・I・H」を知れてほしいです。

新聞だけでなく他の色々なところで使えるので、どんどん使っていって文をつくるのをうまくなりたいたいです。

新聞書き方講座を受けて

私は初めて新聞の書き方講座の話をして大切なことがたくさんありました。

私は英語のときにSWIHはきいて事があったけど、新聞を書くのにも、インテビューするのにも、SWIHは大切な事だとわかりました。新聞にのっている写真にもたくさん工夫があって、大事なものは真中にセズリしずらしてどこのかがわかるようにぜひ考えて写真を撮って117もふつうにみている写真にもいろいろな情報が入って117すごく工夫しているなと思いました。新聞を書くときは、見出しを大きくして、字はせったりにまちがえたりしては117な11! まちがえてはらしめうがうしなうてしまうからせったに117な117だとわかりました。

新聞書き方講座を受けて

新聞書き方講座を受けて、新聞をつくる

ときに、気をつけなさいといけなさいなと

思ったことが 2 つあります。

1 つ目は、見出しです。

見出しを考えるときは、いつもどんな

かんじの、見出しにすればいいのかわ、よく悩ま

れます。けど、講座を受けて、文章の中から

大事なところをまとめ、そのまとめたことを、

見出しにすれば、いいんだなと思いました。

2 つ目は、文字や写真です。

新聞は、いろいろな世代の方が使っています。

なので、文字が小さすぎたり、漢字じやなか

たりすると、読みづらいと思います。また、

写真がなかったらなんのことをかいて

いるのかわからなくなってしまうです。

また、た文字を俾ねないように、気を

つけて、新聞をつくっていきなさいです。

このような理由で、新聞をつくるときは

気をつけなさいです。

新聞書き方講座を受けて

今日一日ありがとうございました。

新聞書き方の話を聞いて本をまねして

みたいということは、インタビューの所で

す。

トライカルワークでもこのインタビュー

のやり方を見てみたいと思いました。

ました。

あと新聞の書き方です。

すごく楽しくなりました。トライカル

ワークが終わったので新聞を書く

時があったらこの新聞の書き方をた

んこうにして書きたいと思

す。

今日は本当に一日おかしゅう

ありがとうございました。

新聞書き方講座を受けて

今日、話を聞いて思ったことは、いつも何げ"にみてる新聞は、裏側ではとても苦労して作っているのだ"なと思いました。取材をして、その取材の取りかたも、どのように取材をするのか"が決まっていたり、短時間で、多くの内容を取り入れ、メモをし、取材をしていたり、それを書き写すだけ"ではなく、まとめて、読む人が分かりやすいように工夫されているのだ"なと気がきました。5W+1Hはとても大事だ"と分かりました。それは、WBCの記事でも、その5W+1Hがなければ、何にも分からないし、他の記事でも、またく何にも分からないので、それが"大事だ"と思いました。

そして、僕はこの話を聞いて、トライやる・ウィークの新聞に"学んだ"ことを生かして、書きたい"と思いました。どのようにするかは、まず、誤字、脱字がない"かを見て、いちばん"とりあげ"たい"ことをトップにして、見出しを多くします。そして、そこから、じ"ぶんがトライやる・ウィークで学んだ"こと、経験したこと"を書き"添えたりして"いきたい"と思います。今日は貴重な話を聞く"ことができて、とても良かったです。

僕は朝ほとんど毎日神戸新聞と  
 読んでいます。あまり気にしてはなかった  
 けど新聞を作る人の工夫などがわか  
 かりもとともとちや、と好きだ。人でも  
 も、と好きになりました。写真の取り方  
 やインタビューの仕方、記事の書き方な  
 ど色々教えていただきました。  
 いつも小学校で新聞を書いた時は  
 めんどくさいな〜と思い、適当に書  
 いて、記事を書くのがいやでほとんど「絵  
 について書いて、でも全てをおぼれたので  
 今回、トライやるウィークはでるだけ絵を  
 少なくし、読みたくなるような見出しを  
 考え、記事もし、か言われた通りに  
 すとめて、インタビューもしっかりして、  
 人と一緒にできる自分なりの所をいれ  
 見て、お面白と思えるような新聞を作り  
 たいです。あとまだ時間はあるので  
 神戸新聞をしようと読んで勉強したい  
 です。

今日の講座を聞いて、僕はただ書くだけで読者の心に届かない、それも読もうとしてくれないことが分かりました。見出しの言葉一つ一つの魅力、本文の文章構成（SMITHをできているか）写真のとり方など読者を引きつける記事、新聞を作っている方はとてもすごいと思います。とくにインタビューでは知ったかぶりとかをせず聞き上手で、自分のありのままの素朴な質問などをするというのが心に残りました。三好さんが森永先生に質問をして、写真をとって、それを10分で原稿にしている所を見てとても見出しにこだわって何度も変えていたりしていたけど、10分で写真込みの原稿をほとんど完成させていたから、とても行われているな、すごいと感じました。自分もトライやるワークをして一人で新聞を作ります。だから今日学んだことを大切に自分だけの新聞を、人を引きつけられるような新聞をつくれるようにがんばってみたいと思います。

新聞書き方講座を受けて

今日ありがとうございました。

インタビューするときには聞くよい質問や、新聞を書くときに必要なことを聞くことができてものづくためになりました。

僕は城西高校にトライヤルで行くのですが、そこで今日教わったことを実践し、ものづく良い新聞をつくりたいと思います。  
ありがとうございました。



新聞書き方講座を受けて私は、新聞、って書くのも大変だけど書く内容を聞くのもまとめるのも写真を撮るのも大変だということ学びました。理由は、2つあります。

1つ目は、今日書き方講座をしてくださった人が森永先生に色々質問をしていたとき、森永先生は名前がむずかしい植物を言っていて私はその言ったことがむずかしすぎておぼえておけなかつたから聞くの、ってとても大変と思いました。

2つ目は、書き方講座をしてくださった人が森永先生に質問をしている所を、「さんが写真を撮る係で、さんはとても写真を撮るのにくせんしていたので写真を撮るの、って大変だということを知りました。

新聞を書くのは、トライやるウィークが終ったときだと思っけどこの新聞書き方講をいかして良い新聞をつかっていきたいです。

新聞書き方講座を受けて、紹介  
 聞はいろいろくふうして作  
 られているんだなと思いました。  
 たとえば、しんぶんの中のしん  
 ば、まんがかに物をあがめた、三角  
 形としてあったり、たしかくせんに  
 おいていたりしました。ほかには、し  
 んぶんのみたしはなんでもいない  
 かわか、じゃうなごした"けまど  
 めてがいたりしていました。どうい  
 わるうーくのほんばんでも、くふう  
 してあつたこやをつかしてしんぶん  
 を作りたいです。

新聞書き方講座を受けて

今回の新聞の書き方講座を受けて、

トライやるウィークで学ぶ事をていねいに

新聞に書けるように今回の事を忘れな

いようにする。そしてトライやるウィークで

行く場所の人に色々簡単に聞く(SWTH

)などを大切にして質問を行っていく。

神戸新聞の人の話を聞いて提出時間の

10分まえにニュースが入ってきてモ新聞に

入れるというところにとってもおどろきました。

それに超単時間で新聞につかうための

取材をやるところがとてもすごかった。

実際に森永先生に取材しているところを

見て次から次へと質問がぶぐにでて

くるところもすごかった。

新聞書き方講座を受けて

今日の講座をうけて、入にインタビューを  
して記事を書くときには、一つのテーマに  
フォーカスして、そのテーマに関連するようなこと  
も関心することからスタート"ということばかり予  
めた。新聞を書くときは、大テーマを  
中心に、そのテーマに関連話題やその他  
の記事をおくと読者の目を引いたり  
教えてほしい、今までの新聞(自分で書  
いたもの)をじっくり読んでみると、右側に大テーマ  
をおいて、そのテーマについて、このトピックは、  
ウエブの新聞は、教えていって、このトピックは、  
レイアウトでつくって、いって、と思いき  
す。  
来年トピックは、ウエブの取材組は現一年生  
からわかり、そのテーマを、ていど、えり  
う新聞をつくりたい。

新聞書き方講座を受けて

衆新聞書き方講座を聞いて人ライターのライターの新聞  
について元張りがいいと思いました。今日の講座では  
職場が大変な忙しさを取材の仕方から上手に書く  
ところまで基本のこともよく学べたと思います。取材の和  
他人は自分がインタビューをすることで生かせることを  
した。基本や聞いたり話でトクになるライターの新聞を作  
る元張りがいいと思いました

新聞書き方講座を受けて

今日は、新聞書き方講座を受け、写真の撮り場所や、  
良い写真のとり方、見出しの位置や書き方などを教してもらい、  
ありがとうございました。

新聞書き方講座を受けて

イ・クビュ - としていること、ア・ラ・ニ・に・ラ・ニ。エ・の・の・か・

心の中に深く残りました。ア・ラ・ニ・に・ラ・ニ・に・ラ・ニ。「新聞記者  
が不眠不休で頑張る」という話を聞くのが、とても心に残り  
ました。

あと：新聞のレイアウトで、見出しの位置が文をどう書くか  
だと、よく分かるので、とても勉強になりました。

「様々なこととを比較する」という発想も、なかなか無かった  
ので、トライアルの時に気を取り直さずと思っております。

言葉遣いも、改行のタイミングも、自分も、いろいろ

使ったというのも、初耳で、ア・ラ・ニ・に・ラ・ニ・に・ラ・ニ。このあたりを  
書く時の参考にしたいと思います。

新聞書き方講座を受けて

僕はこの講座を受けて、一番印象に残ったのは、“5W1H”  
です。これは、When, Where, Who, What, Why,  
How <sup>いつ</sup> <sup>どこで</sup> <sup>だれが</sup> <sup>何を</sup> <sup>なぜ</sup>  
<sup>どのように</sup> という意味で、これらが新聞の文字構成を作る  
基本と聞いて、とても考えられて作られているんだなと  
思いました。この講座を参考に、トライやる・ワーク  
後に制作する新聞づくりに活かしていきたいと思います。  
ます。



新聞書き方講座を受けて

今日の、新聞書き方講座のお話を聞いて、見出しの大切さが、

レポートのしがた、新聞を書く時のポイント、インタビューの時の、メモの取り

方など、今まで気づいていなかったことを新しく知ることができました。

その他にも、良い写真のとり方、写真と新聞のどの部分に貼ればいいのか

か、なども知ることができました。

私は、今日のこの新聞書き方講座のお話で、自分から学校の新聞

を書く時に、どのくらいのことを意識し、新聞を書くか、というところを

意識していました。今の3年生の授業で新聞を書く際、(先生が読み下し

は) あもしろそうだなと思った授業で新聞を書く機会を

授業の時に、今日知った、インタビューレポートのしがたを参考に、

良い新聞を書くようにしたいと思います！

三軒又の、10分間だけで作った記事、井本先生のアドバイスを

聞けたのも良かったです。